

【様式】

平成28年度 学校マネジメントシート

学校名 (南伊勢高校南勢校舎)

1 目指す姿

(1) 目指す学校像		○南伊勢高等学校は、生徒一人ひとりが、自らの力で自分の将来を切り開いていける力を育成する学校を目指します。
(2)	育みたい 児童生徒像	○生徒が基本的な生活習慣を確立し、自立に向けた基礎基本の学力を身につける。 ○生徒が卒業後の進路を早期に決定し、将来に向けての準備や進路実現に向けた学習を自発的に行い、自己実現に向けた進路決定ができる。 ○すべての教育活動を通じて、望ましい人権意識を身に着け、人権尊重の精神のもとで行動できる集団を育成する。
	ありたい 教職員像	○教職員が共通認識をもち、個性を生かしつつ組織力を高める。 ○小規模校や校舎制の利点を生かした教育活動を展開する。 ○地域に開かれ、地域から信頼される学校づくりを推進する。 ○「県立高等学校活性化計画」(平成25年3月)にもとづき、活力ある教育活動を保障する。

2 現状認識

(1) 学校の価値を提供する相手とそこからの要求・期待		<p><生徒・保護者> 基礎学力の定着。規律ある充実した学校生活。</p> <p><地域社会> 将来地元地域で生活し社会に貢献できる人材の育成。</p> <p><中学校> 学習面、生活面での中学校からの指導の継続。将来自立できるための力の育成。</p>	
(2) 連携する相手と連携するうえでの要望・期待	連携する相手からの要望・期待		連携する相手への要望・期待
	<p><保護者> 学力向上。確かな進路保障。 学校との信頼関係。</p> <p><町・町教育委員会> 地元地域の活性化を担う人材育成。 生徒への進路保障</p> <p><地元企業等> 将来地元地域に勤め、社会を支えてくれる人材の育成。</p> <p><NPO等地域活動団体> SBPを中心とした生徒の地域の活性化への貢献。</p>	<p><保護者> 家庭での生活指導、学習への協力。</p> <p><町・町教育委員会> 中高一貫教育及びコミュニティ・スクールとしての発展に向けた協力。高大連携の協力。地元への就職支援。</p> <p><地元企業等> インターンシップへの協力。地元企業の採用増加。</p> <p><NPO等地域活動団体> SBPを中心として、様々な生徒が活躍できる機会の提供。</p>	
(3) 前年度の学校関係者評価等		<p>年間を通じた生徒の活動状況、とりわけSBPやふるさと劇団等の地域での活動など学校の教育活動全般について、おおむね良い評価が得られた。</p> <p>今後は、活動の様子や取り組みをさらに地域に発信し、入学希望者を増加させることが出来るよう、一層魅力ある学校となるよう努力することが求められた。</p>	
(4) 現状と課題	教育活動	多様な生徒が在籍するなかで、基礎基本を大切にした教育の実践と生徒一人ひとりへのきめ細かな指導により地域から一定の評価を得ている。連携型中高一貫教育による教育の連続性、また、町の支援により進学等課外指導や就職支援員による就職支援等で成果を上げている。	
	学校運営等	<p>コミュニティ・スクールとしての研究活動を実施しているが、地域で唯一の県立高校として、地域と共にある学校を目指し、魅力的な学校づくりのため、SBP、ふるさと劇団、防災活動等様々な取組を行っている。</p> <p>しかし、すぐに入学者数の増加につながっていないことが最大の課題となっている。</p>	

3 中長期的な重点目標

教育活動	<ul style="list-style-type: none"> ・社会的自立に向けて基礎基本の学力を身につけ、自ら考え適切に行動できる望ましい人権意識を持つ生徒を育成します。 ・個々の能力・適性に応じて、自らの将来を主体的に考え、希望進路の実現に向けて積極的に取り組む生徒を育成します。 ・基本的な生活習慣や社会的規律・礼儀をしっかりと身につけ、心身ともに健康な生徒を育成します。 ・それぞれの校舎を取り巻く自然環境や文化を活かした教育活動を行うとともに、合同の部活動等を通じて生徒の交流を促進します。
学校運営等	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の多様な主体と協働し、地域から信頼される学校づくりを図ります。 ・率先して業務改善を行い、勤務時間の縮減に努めることにより、より質の高い教育を目指すとともに、教員の一層の資質向上に取り組みます。

4 本年度の行動計画と評価

(1) 教育活動

教育活動に関する項目は、児童生徒を対象としたものとするのが望ましい。

(例)「教育課程・学習指導」「キャリア教育(進路指導)」「生徒指導」「保健管理」など
また、評価項目・指標等を検討する際の視点は、学校の実態に応じて設定する。

【活動指標について】取組・活動の具体的な活動量や活動実績を指標にします。

【成果指標について】取組・活動による具体的な効果や成果等を指標にします。

【備考欄について】「※」: 定期的に進捗を管理する取組 「◎」: 最重要取組

項目	取組内容・指標	結果	備考
学習指導の充実	<p>(1) 基礎学力の育成・定着を図ります。</p> <p>【活動指標】基礎学力ウィークを年2回実施するとともに、基礎力診断テストを年3回(1・2年生)実施。</p> <p>【成果指標】基礎力診断テストの成績上昇率50%を目指します。</p> <p>(2) 基本的な生活習慣や社会的規律の定着を図ります。</p> <p>【活動指標】遅刻、入室許可(授業中退室)の集計を行い、指導の徹底に活かします。</p> <p>【成果指標】遅刻、授業中退室の回数の50%以上の減少を目指します。</p>	<p>基礎学力ウィーク2回 基礎力診断テスト3回 成績上昇率は、30%程度に留まりました。</p> <p>50%以上の減少とまではい かなかつたが、かなりの減 少となりました。</p>	◎ ※
キャリア教育の充実	<p>(1) 就職内定、公務員試験合格、進学志望校合格100%を目指します。</p> <p>(2) 社会人として必要な態度・マナーを修得させます。</p> <p>(3) 自らの適性を理解し、将来を考え、自己肯定感を持って日常生活に臨むとともに、生きることの尊さ、生命のかけがえなさを理解し、自他の生命を尊重する姿勢を育てます。</p>	<p>すべて100%を達成しまし た。</p> <p>マナー講習会を実施しま した。</p> <p>命の大切さを意識させる ような内容を様々な教育 活動の中に取り入れまし た。</p>	◎ ※

改善課題

- ・落ち着いて授業が実施でき、学力の向上も見られるが、一部生徒には授業に集中できないなどの状況がある。授業へ臨む意識、態度の育成が必要である。
- ・基本的な生活習慣についてもあいさつ、言葉遣いなど規律を正していくための教育が必要がある。

(2) 学校運営等

学校運営等に関する項目は、教職員や施設等を対象としたものとするのが望ましい。

(例)「組織運営」「研修(資質向上の取組)」「情報提供」「保護者・地域住民等との連携」など
また、評価項目・指標等を検討する際の視点は、学校の実態に応じて設定する。

【活動指標について】取組・活動の具体的な活動量や活動実績を指標にします。

【成果指標について】取組・活動による具体的な効果や成果等を指標にします。

【備考欄について】「※」:定期的に進捗を管理する取組 「◎」:最重点取組

項目	取組内容・指標	結果	備考
資質向上の取組み	<p>教職員等を対象とした人権教育研修を行います。</p> <p>特別支援教育についての研修会を実施し、生徒の実態に即した対応が出来るようにします。</p> <p>【活動指標】人権講演会…年1回、特別支援教育研修…年1回</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・夏季休業中に特別支援教育研修会を実施し、生徒理解に努めました。 ・二校舎合同研修で人権教育研修を行いました。 	◎
情報提供による信頼の構築	<p>(1) ホームページによる情報提供</p> <p>【活動指標】ホームページの更新 年間10回以上</p> <p>(2) 授業公開、学校見学会等の実施</p> <p>【活動指標】年間2回</p> <p>(3) コミュニティ通信を発行し、町内すべての中学校の児童・生徒に配付するとともに、町内39自治会に配付し、回覧してもらう。</p> <p>【活動指標】年5回以上</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月ホームページの更新を行いました。 ・授業公開と学校見学会を合わせて2回実施しました。 ・コミュニティ通信を年6回発行しました。 	※
働きやすい職場環境づくり	<p>(1) 総勤務時間の縮減を図るため業務改善に努めるとともに、年次有給休暇等を取得しやすい環境をつくります。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・会議等は回数を減らすとともに一回あたりの時間を短縮し、効率的な運営に努めました。 	※

改善課題

・授業公開や学校見学会などを充実させ、地域の方々への学校理解をさらに進める必要がある。

5 学校関係者評価

明らかになった改善課題と次への取組方向	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒のバス乗車や学校周辺での行動においてマナーに課題があるとの指摘があった。継続的な指導が必要である。 ・近隣中学校生徒との交流活動を活発化させ、中学生が行きたい高校となるよう地道な活動が必要である。
---------------------	--

6 次年度に向けた改善策

教育活動についての改善策	<ul style="list-style-type: none"> ・授業改善による基礎学力定着を目指す。 ・町の支援を大いに活用し、進学等課外学習を充実させる。 ・ALTや外部人材の活用により、コミュニケーション力や思考力を高める学習を展開する。
学校運営についての改善策	<ul style="list-style-type: none"> ・学校運営協議会制度の認定を受け、地域の方々とともに作る学校として新たな運営を進める。 ・地域に信頼される学校として、学校運営協議会委員と協働であいさつ運動をするなど基本的な生活習慣の向上を目指す。